

定例選挙管理委員会会議録要旨

日 時	令和6年4月9日 午後4時00分
場 所	横浜市選挙管理委員会室
出席者	田中委員長、川口(正)委員長職務代理者、川口(珠)委員、齊藤委員
	武島事務局長、石川選挙部長、廣澤選挙課長、古川調査課長
	須藤庶務係長、遠藤選挙係長、代田調査係長、今永担当係長
	間宮専任職、宗仲職員

議 事

1 議案

- (1) 公営個人演説会等会場施設の指定について

委員全員：異議なし

- (2) 横浜市議会議員一般選挙における選挙運動費用収支報告書要旨の一部訂正について

委員全員：異議なし

《 原 案 の と お り 決 定 》

2 報告事項

- (1) 横浜市選挙管理委員会参与の委嘱について

委員全員：異議なし

- (2) 指定都市選挙管理委員会委員長等の異動について

委員全員：異議なし

《 報 告 の と お り 了 承 》

3 その他

- (1) 日本経済新聞（令和6年4月8日付け）に掲載された、低投票率の原因と対策に関する記事について、事務局から紹介した。
- (2) 横浜市将来人口推計に基づく議員定数の試算について、事務局から報告した。

《主な発言》

委員：女性の候補者が増えることは良いことだと考えている。魅力的な人が立候補すれば、有権者は投票に行くのではないか。会社員が選挙に立候補しやすくするため、国は企業に対して立候補休暇制度の導入をさらに促す必要がある。

委員：休日にわざわざ選挙に行こうという気にはならない。そこで、アメリカのように投票日を平日に設定できないか。

委員長：企業の経営者は社会貢献の観点からも、政治参加や投票にかかる休暇の扱いを真剣に考えてほしい。

委員：投票日当日に行けない人は期日前投票制度を利用し、平日投票の実現に向けては、働き方改革の切り口で考えてみてはどうか。

事務局：前例にとらわれずに思い切った議論をしていくためには、いろいろなアイデアを大切にしたいと思う。

委員：日本では毎週日曜日になると、どこかの自治体で必ず選挙がある。法律で曜日が決まっていなくても見直しても良いと思う。

委員長：日曜日は投開票の事務従事者を動員しやすいが、平日でも対応できると思う。

《 説 明 の と お り 了 承 》